

臣表彰の団体表彰を、釈迦内上・中通り町内会の「親水公園」活動が国土交通省の手づくり郷土賞の一般部門を受賞しました。これは、市と市民の協働による地域活性化への取組みが国からも認められたものと考えています。

また、財団法人地域総合整備財団の「新・地域再生マネージャー事業」を活用し、新メニューの開発や首都圏での「霞マルシェ」「大館レストランフェア」の開催により大館産品のブランド化と販路拡大に努めています。

更に、大館市まるごと体験推進協議会との連携により、13軒の農家民宿を開業し、空き家バンクを利用した移住体験モニターツアーやグリーンツーリズムによる誘客活動を推進しています。

雇用情勢

この春の高校卒業予定者の就職については、1月末現在、210人の就職希望者のうち201人が内定し、率にして95・7パーセントと昨年に比べ2ポイント低くなっています。

一方、12月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、0・74と昨年同期を若干上回っていますが、今月に入り生鮮食料品店が倒産するなど、景気の動向は依然不透明であり、継続的な雇用対策が求められています。

市が今年度実施している緊急雇用関係対策では、38事業、147人の雇用を確保していて、事業費は3億1千万円程となる見込みです。平成25年度は、

24事業で94人の雇用を確保したいと考えています。

また、国では、新たな雇用対策として、地域産業の振興と雇用創出を図る「起業支援型地域雇用創出事業」など、約1500億円の事業費が盛り込まれた24年度補正予算案を1月15日に閣議決定していますので、今後の国の動向を注視しながら、更なる雇用対策に取り組めます。

高齢者等低額フリーパス券支援事業の執行状況

平成23年7月から開始した「高齢者等低額フリーパス券支援事業」は、今年度の支援額が、1月末現在で1293万円、販売枚数1208枚で、その内訳は1カ月券が2割、3カ月券が3割、6カ月券が5割で、昨年度に比べ6カ月券の割合が大幅に増加しました。

また、フリーパス券購入による特典提供店も、昨年12月に2店が加わり、合計6店に増えています。

一方、生活バス路線17路線への運行補助金は前年度比で8パーセント減少し、総輸送人員は2パーセント増加したことから、この事業効果が現れたものと考えています。

今後、事業を再検証しながら、中心市街地と各地域を結ぶ生活



バス路線の維持、効果的な公共交通施策の継続により、利便性の向上に努めます。

キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰の受賞

平成22年度から推進してきた「ふるさと・キャリア教育」の取り組みが認められ、24年度文部科学大臣表彰を受賞しました。

大館に根差し、大館で自立しようとする気概を持った「人財」を育成するため、ふるさと・キャリア教育を推進する「産学官民のネットワークの構築」「キャリアパスポートや職場体験受入先のデータベース作成」「職場体験などを推進する子どもハローワーク」の設立と運営などに取り組み、その成果が高く評価されての受賞です。

今後も、子どもたちが「大館益地を教室に、市民一人一人を先生に」して学べる環境づくりに努めます。

総合病院機能評価の認定

総合病院では、平成24年9月に公益財団法人日本医療機能評価機構による機能評価審査を受けました。その結果、組織的に医療を提供するための基本的活動が一定水準を満たし、適切に実施されていると認められ、1月18日付けで「認定病院」として登録されました。

これは「患者さんの安心と満足が得られる医療の展開」という病院理念のも

と、23年度当初から約1年半にわたって、患者さんとのコミュニケーションの促進、医療チーム間の連携強化を始め、病院全体の環境改善、職員の意識改革と組織運営の合理化等に取り組んできた成果と考えています。

今後も認定にふさわしい病院であり続けるため、機能の維持、向上に努めるとともに、質の高い医療サービスを提供します。



そのほかの報告

- ・第4次行財政改革大綱の進捗状況
- ・小柄沢墓園の拡張工事
- ・北朝鮮核実験に伴う大館市の対応
- ・メンタルヘルス相談室の設置
- ・人・農地プランの作成状況
- ・農業農村整備事業の状況
- ・林業振興事業の状況
- ・新エネルギーの取り組み
- ・二井田地区の工業団地の状況
- ・ふるさと祭り東京2013
- ・冬まつり
- ・道路の整備状況
- ・水道施設の整備状況
- ・公共下水道の整備状況
- ・小・中学校の耐震化事業
- ・扇田病院ペレットボイラー設備工事